

企業情報

株式会社テクロム			
所在地	滋賀県近江八幡市十王町 900 番地		
ホームページ URL	http://techrom.co.jp		
設立年	2006年	業種	その他製造業
従業員数	2人	資本金	1000万円

企業概要

当社は、2006年の創立以来、分析技術のノウハウを蓄積してまいりました。豊富な経験・技術をベースに理化学機器の開発を行い、設計から製造・販売・サポートまでトータルに対応しております。特殊な仕様につきましてもオーダーメイド・カスタマイズでお応えしております。お客様の問題解決の手段として受託分析を実施するとともに、分析機器販売から分析コンサルティングやビジネス文書・資料などの翻訳サービスまでトータルサポートを実施しております。今後も分析業界のパイオニアとして邁進してまいります。



自社の強み

当社は、今までありそうでなかった製品や特殊な仕様品など、お客様のご希望の製品を1台から製作いたします。お客様だけのオンリーワン製品をお届けします。また、当社の製品をよりお客様のニーズに適応するように改良いたします。このように、特殊な仕様品にもフルオーダーメイド、カスタマイズで確実に応えております。さらに、より高度な分析が行える装置開発に力を注ぎ、実用新案、特許の出願を行ってきました。



一押し商品

今回、開発・販売を開始したサンプリングバッグ加湿洗浄装置 SHC-3 は、自動車部品の放散試験に適応したサンプリングバッグ専用の加湿洗浄装置です。従来、手作業による洗浄が主流です。本製品は洗浄効果の高い加熱加湿洗浄法に注目し、全自動洗浄を初めて実現しました。加熱加湿洗浄法は水分が残存し易いため、水分除去が最大のキーワードとなります。水分除去をほぼ完全に行うことのできるアタッチメントを開発しました。特許出願も行っています。また、大容量(300L)のサンプリングバッグにも対応しています。



知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

同社は、創業から理化学機器の設計、開発、製造、販売を行っている会社で、自社で開発された分析方法及び分析機器について知的財産の出願を行われています。知的財産の出願以外に他社との契約に関する支援、商品広告に関する支援を行ってきました。

最初の相談概要

同社は、サンプリングバッグの洗浄方式として、乾燥ガスを用いて洗浄する乾式洗浄装置の実用新案を取得されておりました。さらに開発を継続され、業界で初めて加湿したガスをサンプリングバッグに注入して洗浄する湿式洗浄装置を開発し事業化することとなり、特許出願を検討されました。

その後の相談概要

同社は、その後、出願に向けて特許の内容を検討した結果、ガス供給チューブをサンプリングバッグに挿入接続するためのアタッチメントを開発し、従来より短時間で分析が可能な自動洗浄装置を発明されたので、知財専門家の派遣指導にて特許出願の支援を行いました。

窓口を活用して変わったところ

同社は、小さい会社ながら、社長自身がアイデアをだし、新技術を構築されており、知財権で保護し活用していくという意識を持られています。商品販売に関しては、商品広告に関しても取り組まれており、総合的に事業展開を行われています。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

新開発製品に関する特許出願については、知財総合支援窓口のご支援によりスムーズに行うことができました。また、契約関係では大企業と対等な取り引きを行うことができました。今後も窓口のご支援を受けることにより、知的財産について積極的に取り組む所存です。

窓口担当者から一言 (氏名：荒川 修一)



同社は、社長ご自身がアイデアの発想が豊富な方で、業界で初めての分析方法及び分析機器を世に出されました。業界の分析標準も変更になるかもしれません。今後も企業経営を活かす知的財産に関するご支援を継続していきたいと思っております。

窓口支援事例 【滋賀県 知財総合支援窓口】

企業情報

株式会社テクロム			
所在地	滋賀県近江八幡市十王町 900 番地		
ホームページ URL	http://techrom.co.jp		
設立年	2006年	業種	その他製造業
従業員数	2人	資本金	800万円

企業概要

当社は、2006年の創立以来、分析技術のノウハウを蓄積してまいりました。豊富な経験・技術をベースに理化学機器の開発を行い、設計から製造・販売・サポートまでトータルに対応しております。特殊な仕様につきましてもオーダーメイド・カスタマイズでお応えしております。お客様の問題解決の手段として受託分析を実施するとともに、分析機器販売から分析コンサルティングやビジネス文書・資料などの翻訳サービスまでトータルサポートを実施しております。今後も分析業界のパイオニアとして邁進してまいります。



自社の強み

当社は、今までありそうでなかった製品や特殊な仕様品など、お客様のご希望の製品を1台から製作いたします。お客様だけのオンリーワン製品をお届けします。また、当社の製品をよりお客様のニーズに適応するように改良いたします。このように、特殊な仕様品にもフルオーダーメイド、カスタマイズで確実にお応えしております。さらに、より高度な分析が行える装置開発に力を注ぎ、実用新案、特許の出願を行ってきました。



一押し商品

今回、開発・販売を開始したサンプリングバッグ加湿洗浄装置 SHC-3 は、自動車部品の放散試験に適應したサンプリングバッグ専用の加湿洗浄装置です。従来、手作業による洗浄が主流です。本製品は洗浄効果の高い加熱加湿洗浄法に注目し、全自動洗浄を初めて実現しました。加熱加湿洗浄法は水分が残存し易いため、水分除去が最大のキーワードとなります。水分除去をほぼ完全に行うことのできるアタッチメントを開発しました。特許出願も行っています。また、大容量(300L)のサンプリングバッグにも対応しています。



知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

同社は、創業から理化学機器の設計、開発、製造、販売を行っている会社で、自社で開発された分析方法及び分析機器について知的財産の出願を行われています。知的財産の出願以外に他社との契約に関する支援、商品広告に関する支援を行ってきました。

最初の相談概要

同社は、サンプリングバッグの洗浄方式として、乾燥ガスを用いて洗浄する乾式洗浄装置の実用新案を取得されておりました。さらに開発を継続され、業界で初めて加湿したガスをサンプリングバッグに注入して洗浄する湿式洗浄装置を開発し事業化することとなり、特許出願を検討されました。

その後の相談概要

同社は、その後、出願に向けて特許の内容を検討した結果、ガス供給チューブをサンプリングバッグに挿入接続するためのアタッチメントを開発し、従来より短時間で分析が可能な自動洗浄装置を発明されたので、知財専門家の派遣指導にて特許出願の支援を行いました。

窓口を活用して変わったところ

同社は、小さい会社ながら、社長自身がアイデアをだし、新技術を構築されており、知財権で保護し活用していくという意識を持られています。商品販売に関しては、商品広告に関しても取り組まれており、総合的に事業展開を行われています。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

新開発製品に関する特許出願については、知財総合支援窓口のご支援によりスムーズに行うことができました。また、契約関係では大企業と対等な取り引きを行うことができました。今後も窓口のご支援を受けることにより、知的財産について積極的に取り組む所存です。

窓口担当者から一言 (氏名：荒川 修一)



同社は、社長ご自身がアイデアの発想が豊富な方で、業界で初めての分析方法及び分析機器を世に出されました。業界の分析標準も変更になるかもしれません。今後も企業経営を活かす知的財産に関するご支援を継続していきたいと思っております。

企業情報

株式会社テクロム			
所在地	滋賀県近江八幡市若宮町 663-1 伊藤ビル 303		
ホームページ URL	http://techrom.co.jp		
設立年	2006年	業種	その他製造業
従業員数	3人	資本金	800万円

企業概要

当社は、2006年の創立以来、分析技術のノウハウを蓄積してまいりました。豊富な経験・技術をベースに理化学機器の開発を行い、設計から製造・販売・サポートまでトータルに対応しております。特殊な仕様につきましてもオーダーメイド・カスタマイズでお応えしております。お客様の問題解決の手段として受託分析を実施するとともに、分析機器販売から分析コンサルティングやビジネス文書・資料などの翻訳サービスまでトータルサポートを実施しております。今後も分析業界のパイオニアとして邁進してまいります。



自社の強み

当社は、今までありそうでなかった製品や特殊な仕様品など、お客様のご希望の製品を1台から製作いたします。お客様だけのオンリーワン製品をお届けします。また、当社の製品をよりお客様のニーズに適應するように改良いたします。このように、特殊な仕様品にもフルオーダーメイド、カスタマイズで確実にお応えしております。さらに、より高度な分析が行える装置開発に力を注ぎ、実用新案、特許の出願を行ってきました。



一押し商品

今回、開発・販売を開始したサンプリングバッグ加湿洗浄装置 SHC-3 は、自動車部品の放散試験に適應したサンプリングバッグ専用の加湿洗浄装置です。従来、手作業による洗浄が主流です。本製品は洗浄効果の高い加熱加湿洗浄法に注目し、全自動洗浄を初めて実現しました。加熱加湿洗浄法は水分が残存し易いため、水分除去が最大のキーワードとなります。水分除去をほぼ完全に行うことのできるアタッチメントを開発しました。特許出願も行っています。また、大容量のサンプリングバッグへの対応の開発も現在行っています。



知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

同社は、創業から理化学機器の設計、開発、製造、販売を行っている会社で、自社で開発された分析方法及び分析機器について知的財産の出願を行われています。知的財産の出願以外に他社との契約に関する支援、商品広告に関する支援を行ってきました。

最初の相談概要

同社は、サンプリングバッグの洗浄方式として、乾燥ガスを用いて洗浄する乾式洗浄装置の実用新案を取得されておりました。さらに開発を継続され、業界で初めて加湿したガスをサンプリングバッグに注入して洗浄する湿式洗浄装置を開発し事業化することとなり、特許出願を検討されました。

その後の相談概要

同社は、その後、出願に向けて特許の内容を検討した結果、ガス供給チューブをサンプリングバッグに挿入接続するためのアタッチメントを開発し、従来より短時間で分析が可能な自動洗浄装置を発明されたので、知財専門家の派遣指導にて特許出願の支援を行いました。

窓口を活用して変わったところ

同社は、小さい会社ながら、社長自身がアイデアをだし、新技術を構築されており、知財権で保護し活用していくという意識を持たれています。商品販売に関しては、商品広告に関しても取り組まれており、総合的に事業展開を行われています。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

新開発製品に関する特許出願については、知財総合支援窓口のご支援によりスムーズに行うことができました。また、契約関係では大企業と対等な取引を行うことができました。今後も窓口のご支援を受けることにより、知的財産について積極的に取り組む所存です。

窓口担当者から一言 (氏名：荒川 修一)



同社は、社長ご自身がアイデアの発想が豊富な方で、業界で初めての分析方法及び分析機器を世に出されました。業界の分析標準も変更になるかもしれません。今後も企業経営を活かす知的財産に関するご支援を継続していきたいと思えます。